

校長あいさつ

山形県立鶴岡中央高等学校のＨＰをご覧くださいありがとうございます。

本校は平成１０年に県立鶴岡家政高等学校と県立鶴岡西高等学校を統合して設立された普通科と総合学科を有する学校です。各年次６クラス（普通科３、総合学科３）あり、庄内地区の中でも大規模な学校となっています。生徒たちは毎日楽しく学校に登校し、授業や課外活動に意欲的に取り組んでいます。

さて、本校は、ＪＲ鶴岡駅から徒歩１５分、北に鳥海山、東に月山を望み、庄内平野の大地に立ち、加えて「鶴岡サイエンスパーク」として多くの研究施設等が集積する地域にあります。その一つに世界最先端の研究開発をしている慶應義塾大学先端生命科学研究所（ＩＡＢ）があり、「Ｕ－１８研究助手制度」を通じ、本校生徒を研究助手として採用いただいています。これまで、多くの生徒が世界最先端の研究の一翼を担い、また、ここでの経験を活かして研究職に就き、活躍している卒業生もあり、豊かな学習環境にあります。

さらに、鶴岡市は「サムライゆかりのシルク～日本近代化の原風景に出会う町鶴岡」として日本遺産に認定されています。この地域の伝統産業を伝承しようとして「シルクガールズ・プロジェクト」をはじめ、本校で学んだことを活かして、保育施設や小学校と連携した出前授業の実践、地域活性化に係る活動への参加等々、地域やふるさとと共生する実践に取り組んでいます。

この３月に山形県教育委員会より、第７次山形県教育振興計画が示されました。目標は「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」です。今後１０年この目標を踏まえ、本校の校訓「立志 夢を夢で終わらせない力」「気づき いつもだれかを思って考えられる力」「共生 ふるさとのために活動する力」を持った次代を担い、地域を担う人材を育てていかなければならないと考えています。今後も地域に根ざした教育活動を推進し、地域の皆さまに愛され、地域に必要とされる学校として教職員・生徒・学校関係者が一丸となって、活力あふれる・魅力あふれる学校づくりを進めてまいりますので、ぜひとも本校を応援してくださるようお願い申し上げます。